

## 指導者が学ぶべきこと

大阪府

上甲 晃じょうこう あきら



の立場にあつた。

「エリート中のエリート」と世間においてはやされ、「日本の未来を背負うリーダーになるのだ」と胸を張って入塾してきた塾生諸君は、入塾したら、きっと高度で専門的、最先端の学びができると胸を膨らませていた。

その塾生たちに向かつて、松下

幸之助は、「立派な指導者になるためには、誰よりも早く起きて、身の回りの掃除をしっかりと励むこと」と言った。そして塾に来るたびに、「君たち、しつかり掃除しているか」と聞いた。

塾生たちは、「はい分かりました。明日からしっかりと掃除をします」とは言わなかつた。「そんな雑用をしていたら、肝心の勉強の時間がなくなる」と反発した。私

は、「しつかり掃除をしなさい」という塾長の松下幸之助と、「掃除のような雑用をしている間がない」と反発する塾生との間に立て、大いに苦しんだ。

その苦しみがあつたからこそ、私は、鍵山秀三郎さんと出会うことことができた。

松下幸之助は教えた。

「知識や技術は、しょせん人生の道具である。その道具を使いこなすために、何より、本人の人間性を高める知恵を磨かなければならぬ。知恵は、現地現場で実践を通じ、心に刻み込むものだ。

みんなのために身をかがめ、一心不乱に、汚れた所をきれいにする掃除の実践は、指導者がしつかりと身に付けなければならない、最も大切な知恵の一つである」と。

# ひとつ拾えれば ひとつだけきれいになる

静岡県

白鳥 宏明

ひろあき



を磨くために掃除をさせていた  
だいています。掃除を通じて、自  
分と向き合う「動く坐禅」といっ  
てもよいかもしれません。

過去トイレ掃除を行ってきた  
方は歴史上何人もいましたが、  
「市民権」を持たせるまでに至つ  
た人は、私の知る限り鍵山秀三  
郎氏ただ一人だろうと思います。

私は鍵山秀三郎さんに出逢い、「  
鍵山掃除道」を実践する中で奇  
跡のような出来事を体験してき  
ました。社員が穏やかになるにつ  
れて社風が良くなり、それに伴つ  
て業績も回復していく。荒れた  
学校が更生し、街頭清掃では街  
の犯罪率が劇的に下がる。地域  
で掃除をする人も増え、良い人  
が集まるようになりました。

トイレをお借りして、自らの心

を通じて心の荒みをなくし、社会  
を良くしていきたい」という心願  
を立て、30周年を迎えた。鍵  
山氏の思いを後世に伝え、掃除  
がこんなにも楽しく素晴らしい  
ものということを、一人でも多く  
の方に知つてもらい、実践いただ  
けることを願つてやみません。

鍵山掃除道は、アジアやヨー  
ロッパにも広がっています。サッ  
カーのワールドカップで、スタジ  
アムの掃除をした日本人のこと  
が世界で称賛されました。掃除  
は古来、古事記や和歌にも歌わ  
れる日本の誇るべき伝統・文化  
であり財産です。

「ひとつ拾えればひとつだけきれ  
いになる」。ゴミひとつ拾うこと  
から始めてみましょう。

日本を美しくする会は、「掃除

(414-0045 静岡県伊東市玖須美元和田79-36)

## 最高の仲間 掃除に学ぶ会

長野県 宮之本 伸みやのもと しん



なところで側溝の掃除をしていたら車にひかれてしまいますよ」なんて思つたこともあります。

2015年首都圏を離れた後も、掃除ができる場所を半年探し、小布施掃除に学ぶ会に入会しました。その後も転職を繰り返していますが、小布施の会での活動は続いています。

今は縁あって、松本市の副市長をしています。片道80km、2時間半、小布施町の栗ヶ丘小学校に通つている理由は、掃除の仲間がいるからです。同じ志を持つ仲間と一緒に掃除をしていると、とにかく楽しいのです。これは、言葉では表現できません。

「今日は、鍵山相談役とお会いできるかなあ」とワクワクしながら通っていました。「相談役、そん

関心を払つていませんでした。

しかし、掃除の大きな力を知つた今、他人に伝え活動を広げる

ことが命題だととらえています。現在、長野県南部には、掃除に学ぶ会はありません。この拠点作りを目指します。

コロナ禍で、全国で多くの組織が休眠状態になりました。

能、香道、華道、茶道の中に最も、いろんな困難や危機を乗り越えて、今まで伝わつているものもあれば、残念ながら滅びてしまつたものもあります。掃除道が栄えるのもすたれるのも、それはひとえに我々が掃除道を広めるかどうかにかかっています。

我々が実践し、行なっていくところに鍵山掃除道はあるし、行なわないとなくなるのです。

## 凡事徹底の継続

千葉県 利和則



1993年5月、(株)ローヤル様を訪問し、鍵山社長にトイレ掃除をご指導いただきました。私はそれまで週1回1時間早く出社してトイレを掃除していましたが、それは会社での立

場上やっていたもので、しかも自己流でした。

鍵山様は、社長とは思えない、作業着でズボンをまくり上げて私たちの前にお立ちになりました。なんと素手で便器を磨き始めました。「目からウロコ」とはこのことでした。

掃除道具は、私たちが会社で使っていた、ほうきや塵取り、ホース、柄つきブラシなどはなく、種類も多くありました。1時間ほどでしたが、便器はピカピカで、新品のようを感じました。

私どもの会社は不況知らずのIT業界で業績を伸ばしていました。早くから掃除に取り組んでいたものの、有頂天になつて気が緩んでいたのか、「お客様接待」で掃除どころではない

役員も出始めっていました。そんなときにバブル崩壊です。業績は急降下し、会社存続の大好きな危機を迎えるました。

そんな状況下、ローヤル様の「徹底した掃除」に学ぼうと、幹部8名での訪問でした。鍵山様の「掃除をおろそかにすると会社をつぶす」というお話を戸惑ったのを覚えています。

以来、毎朝5時30分から駅前清掃、社内清掃、会社周辺の清掃を今日まで続け、30年が過ぎようとしています。

「掃除の五徳」——「謙虚な人に、気づく人に、感動の心、感謝の心、心を磨く」には、凡事徹底を続ける力が備わるようですね。

## 「一期一会」を活かせました

島根県 大多和 聰宏



とは「感」じて「動」くものですが、私は感じたものの動かず、月日と共に鍵山先生は遠い存在になつていきました。

3年後の2005年8月、トイレ掃除に取り組む校長先生の講演を聴きました。その数日後、地元の掃除に学ぶ会の代表の方からいたいた電話をきっかけに、隣県に来られた鍵山先生とご一緒に

することができました。

爾来ご縁をいただき、翌年9月、鍵山先生に本校に来ていただき、ご講演と掃除指導をしていました。真剣に考えるとは、意識しているということであり、何となく考え行っていたのでは徹底しないことに気づき、そして反省しました。これを機に、著書を

2002年5月、鍵山先生の講演を初めてお聴きしました。

予備知識のない聽講でしたが、平凡なことを非凡に努力する凡事徹底の実践の数々を聞いて、「こんな人がいるとは……信じられない！」と感動しました。本来感動

しづつ形になつていきました。

2009年8月、再び来校いたとき、2011年から鍵山先生と学ぶ「求根塾」に入塾しました。掃除だけでなく、人の上に立つリーダーのあり方、生まる上で「根っこ」など、数えきれないほどの教えと気づきをいただきました。

世の中には、「一期一会」をしっかりキヤツチできる人もいますが、できない人もいます。むしろ、後者の方が多いのではないかでしょ

うか。私のように「一期一会」を活かしそこないかけた者でも、人様のおかげで、人生の師にご縁をいただいたことに深謝しています。

この恩恵に感謝し、ご縁をつなぐお役を果たしていきます。

## 「鍵山掃除道」の 出会いと気づきに感謝

埼玉県 中村 孝明

なかむら たかあき

私は、2018年から「埼玉掃除に学ぶ会」代表世話を仰せつかりっています。毎日の経営の中でも、掃除をずっと続けてきました。協力してくれた社員や友人知人、お客様・学校・PTA関係者・役所の皆さまがいたからこそ、続けてこられたと思います。

1994年11月「埼玉掃除に学ぶ会」が発足。前年の11月、岐阜県大正村で第一回「全国掃除に学ぶ会」が開かれたとき、埼玉倫理法人会の蓮実利勝会長が、初代代表となる田中啓一幹事長を派遣されたのがきっかけです。

法人会から広がったために会員は多く、1996年さいたま市水川神社での大会には、1300名を超える人が集まりました。

その後「日本を美しくする会」に登録し、1997年5月第一回「埼玉掃除に学ぶ会」を浦和高校で開催しました。10回以上打ち合わせを行なって、大会は成功しました。その後の心地よい疲労に大きな達成感と感動は、忘れられない思い出です。

県内各地で街頭清掃や幼稚園、小・中・高校のトイレ掃除を行なってきました。2013年4月に始めた「大宮駅前街頭清掃」が、翌年「さいたま市ロードサポータ」団体に公認されたことも嬉しい思い出です。

東北大震災では、埼玉便教会と

合同で被災地支援ボランティアに行きました。トラックに小型トラクターや草刈り機を満載して、参加しました。悲惨な環境の中、被災者に寄り添いお役に立てた感動は未だ消えません。

鍵山掃除道の「気づき」と、他者を活かすことが自分を生かす「他利自利」という心の宝物に巡り合えたことは幸せでした。

会社では、気持ちよい挨拶が交わされ笑顔が増えて、雰囲気が変わりました。掃除に参加されるお客様もおられます。学校行事や神社祭礼にも掃除を通じて協力し、地域にも輪ができました。「鍵山掃除道」のお陰であり、感謝でいっぱいです。

(340-0051埼玉県草加市長栄町630-1)

## 痛苦、骨を噛む

大阪府

池永 重彦  
いけなが しげひこ



です。しかしすぐに、「私もそうしてきました」と相談役は仰いました。一条の光が射し、私は救われた思いがしました。この言葉は、今もくり返し私を支えてくれています。

私は、掃除を中心置いて生き直すことにしました。すべてをぶつけるかのように取り組んでいましたが、だんだん「こうでなければならない」という形に囚われだしました。掃除に学んでいるはずが、何か自分が特別のことをしているかのような、独りよがりな掃除をしていました。このこ

とは言われません。草を抜くことは命を絶つことです。命を大切にと言いながら、なぜ私は草を抜くのか、なぜ抜く草を選ぶのか。すぐ言い訳をしようとする自身の浅はかさや、いやらしさを見つめます。そして人間は他の命を奪いながら生きていることに気づきます。掃除は、心を磨くとともに、思索の時間になりました。

鍵山相談役が拓かれた道は日本中、世界中に拡がり、それぞれの道友の人生を支え、しかも互いが学び合っています。すべては鍵山相談役から始まりました。

私は生き直しをしています。これからも掃除に学び、心を磨き、愛を伝えるように生きていきたく思います。

山本さんは命を慈しむように、草を抜かれません。決して「雑草」の意味ですが、実に厳しい言葉

会社が不祥事で危機に陥りました。鍵山相談役にご報告したところ、「痛苦、骨を噛む」と言されました。「骨に達するほど痛みを受けなければ、わからない」と

山本さんは命を慈しむように、

## よい習慣を身につける

宮城県 太田 昌浩

おおた  
まさひろ



方は微笑んで「吸つた煙は吐かないでください。私を巻き込まないでください」と言われ、グウーと三郎様でした。帰る間際に「良い習慣と悪い習慣、どちらを持つかで人生は大きく変わります。太田さん！ 良い習慣をお持ちください」と。この貴重なお言葉は生涯忘れません。

2002年東北ブロック長伊藤信幸様のお誘いで、宮城掃除に学ぶ会に入会しました。以来2021年2月までの20年間、代表世話人をさせていただきました。

この間全国各地の大会に参加し、掃除の学びと多くの方との交流は、私の人生を根底から変えました。2010年11月の「徳之

30年前、東京銀座のレストランで食後正面に座つていらっしゃる方に、「タバコ吸つてもよろしいでしょうか」と伺ったところ、「どうぞ」と。一服吸つたその瞬間、その

故郷)では、警察、消防、病院の関係者、高校野球部員、お掃除仲間15名など、総勢100名が参加されたのには驚きました。子どもたちは、幼少時から自分の何十倍もある大きな闘牛の世話をしているため、トイレ掃除に抵抗なく励んでいました。その姿に、掃除道の原点「素直に学ぶ」大切さを痛感しました。

翌年3月、東日本大震災が発生。二十数メートルの大津波が三陸沿岸一帯を襲いました。日本を美しくする会東日本救援隊の皆様は、石巻専修大にテントを張り、3ヶ月間被災者を支援され、生きる力と勇気を与えてくれました。11年後の今、改めて厚く御礼申し上げます。

(980 0013 宮城県仙台市青葉区花京院2-1-61)